

# ミュージアム・カレッジ 2018

いしぶみ

# 書と碑

— 漢字文化圏再考・再興にむけて —

埼玉古墳群稲荷山古墳出土の国宝・金錯銘鉄剣が示すように、古代より我々は漢字を使って記録をしてきました。漢字は、東アジアの共通言語として各国の相互理解に寄与してきましたが、第二次世界大戦後、その様相は大きく変わりました。さらに、近年のグローバル化の波が“国際公用語”としての英語の地位を著しく高揚させる中、漢字の存在感は薄れつつあるように思われます。この講座は、そのような漢字を取り巻く現状と、その魅力・意義をみなさんとともに考えていこうとするものです。

開催日

第1回

11月30日(金)  
「稲荷山古墳と鉄剣銘文」

関 義則 (埼玉県立歴史と民俗の博物館 館長)

第2回

12月7日(金)  
「埼玉・古文書・あらかると」

新井 浩文 (埼玉県立歴史と民俗の博物館 学芸主幹)

第3回

12月14日(金)  
「刻まれる漢字、その形」

成田 健太郎 (埼玉大学大学院人文社会科学研究所 准教授)

第4回

12月21日(金)  
「ベトナムの古文書と石碑 -日本との比較-」

井上 智勝 (埼玉大学大学院人文社会科学研究所 教授)

時間は各回とも13:00~14:30

受講料 **無料** (展示観覧には観覧料が別途必要となります)

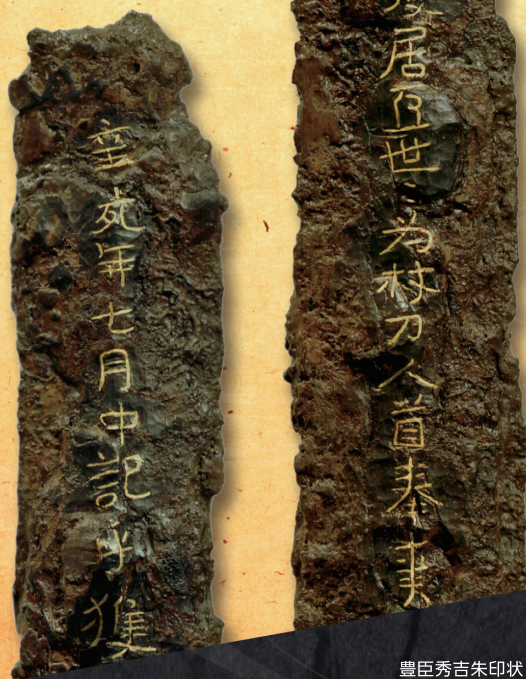
申込方法 事前申込は不要です。当日ご自由にお聴講いただけます。

定員 **150名** (当日先着順)

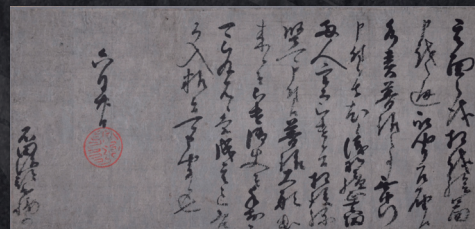
問い合わせ先 埼玉大学広報渉外室 TEL:048-829-7672

会場 埼玉県立歴史と民俗の博物館 講堂

稲荷山古墳出土・金錯銘鉄剣  
(埼玉県立さいたま史跡の博物館 蔵)



豊臣秀吉朱印状  
(埼玉県立歴史と民俗の博物館 蔵)



如達堂産科奥術秘伝巻  
(埼玉県立文書館蔵)

## アクセス

### 埼玉県立 歴史と民俗の博物館

〒330-0803 埼玉県さいたま市大宮区高鼻町4-219  
TEL:048-645-8171

東武アーバンパークライン(野田線) 大宮公園駅下車 徒歩5分



※駐車場の駐車台数に限りがございますので、できるかぎり公共交通機関をご利用ください。